

平成 28 年度 学校における消費者教育の推進について

平成 29 年 8 月 28 日

長野県教育委員会教学指導課

小中学校

○長野県総合教育センターで、実践力を向上させるための情報の発信

- ・消費者教育に関する講座「かしこい消費者・エコ生活」（8月26日）
- ・講義「家庭科における消費・環境に関わる指導と評価」
- ・講義「消費者教育の基礎」（講師 長野県金融広報委員会 金融広報アドバイザー）

○長野県金融教育公開授業（長野県金融広報委員会「金融教育研究校」）

- ・飯田市立飯田東中学校（11月10日）
- ・茅野市立永明小学校（11月28日）

○安曇野、北安曇教育課程研究協議会（中学校家庭分野）

- ・消費者教育に関する研修（講師 長野県金融広報委員会 金融広報アドバイザー）

＜安曇野、北安曇教育課程研究協議会参加者の声から＞

- 消費者教育の指導に迷っていたが、先生のお話しをお聞きし、ヒントをいただくことができた。学校に戻ったら、すぐに取り入れたい。
- 消費者教育は、時代の流れと共に大きく変化していくことが分かった。最新の情報をキャッチし、授業に反映させていくことの大切さを実感した。
- 消費者教育イコール悪質商法への対策ととらえていた部分があった。消費者教育推進法ができ、新しい消費者教育として「これからの社会を創り出す意欲的な消費者を育てる」という視点での授業を行っていきたい。

高等学校

○長野県金融広報委員会「金融教育研究校」（高等学校）

- ・飯山高等学校 ・飯田高等学校 ・豊科高等学校 ・松代高等学校

○アクティブ・ラーニングの3つの視点「深い学び」「対話的な学び」「主体的な学び」に基づいた実践事例

（平成 28 年度長野県高等学校教育課程研究協議会（家庭科部会）より）

- ・「人生すごろく」を作ろう（家庭基礎）

今後起こりうるライフイベントを考え、グループ内で意見交換しながら多様なライフコースがあることに気づき、人生設計を主体的に展望する。①各自、高校卒業から高齢期までに起こるであろうライフイベントを20個以上書き出す。②グループで目標となるゴールを設定し、様々なライフコースを考えながらライフイベントをつなげていく。③完成したすごろくを体験する。3班分くらい体験後、それぞれの感想をまとめて発表する。

- ・「悪質商法」について（家庭基礎）

グループごとにロールプレイを行う。悪質商法の手口、被害者とならないために注意すべき点についてグループで話し合っけてまとめ、最後に発表する。

- ・消費生活についての分野（家庭総合）

ひとり暮らしの生活費についてシミュレーションする。金融広報中央委員会の教材を使用して、高校卒業後の生活費について考えさせる。高卒で就職した場合の平均収入や、そのうち支出はどのくらいかを具体的に考えさせる。社会人として支払う非消費支出についても学び、さらに自分の自由になるお金を生み出すためのやりくりを考えさせる。最後に今回学んだことや今後の経済生活の展望について発表させる。